

流山市高齢者支援計画(案)パブリックコメント意見

NO	項目・該当箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無
1	P49 (10)福祉会館の運営 [取り組みの方向]	直営の福祉会館を順次指定制度へ移行することは大歓迎ですが、株式会社が国の高齢者雇用助成金を利用しての応募は排除して下さい。提示金額が安くなり、国の助成を受けないシルバー人材センターが不利になります。又、シルバー人材センターを市が設立した趣旨にも反します。	指定管理者の公募は、「流山市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例」に基づいて実施しており、国の助成金の活用を理由に応募から除外することはできません。 また、シルバー人材センターは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて、千葉県知事の指定により設立された自主的、自立的な社団法人です。なお、同センターには運営費の補助として国と市から補助金が支出されています。	無
2	全 般	田中角栄総理大臣の日本列島改造論、教育革命改革論etc、アメリカに学べ追いつけ、スウェーデンに社会福祉国家政策を学べetc、スウェーデン、デンマーク等ヨーロッパ数カ国を35年前に視察、学校給食、児童から老人までどう実施するか考え時以来、急激な進歩をとげてきた。 本市の計画書は全て完成された最高のものです。 いつ、どこで、何をどのようにするのか、具体化、実現化するかわかりません。 実態把握、将来計画～具現化まで、よくできています。	この計画は、「誰もが充実した生涯をおくることのできる流山」の実現を目指すものです。 今後とも、この計画の趣旨に則り、高齢者支援計画の諸施策を推進してまいります。	無
3-1	P66 施設サービスについて	ほとんどの高齢者は老後の生活に不安を感じている。希望する高齢者が全てすぐに入居できる10万円/月以下の有料老人ホームを早急に建設し、流山が全国に先駆けになることを希望します。	核家族化が進行し、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増加する中で、高齢者が安心して暮らせる住まいが求められています。 施設の運営経費を考えると入居費を10万円以下とすることは非常に困難であると言わざるを得ませんが、市としては、市内の利用ニーズを把握しつつ、有料老人ホームやサービス付高齢者住宅を民間活力によってバランスよく整備したいと考えています。	無
3-2	就業支援	働きたいので流山市シルバー人材センターに登録しても就業できない沢山の人がいます。 昨今、時間単価が安いNPOが主流と聞きますが、これは間違っている。高齢者就業支援対策として、シルバーを最優先して、市の関連施設等に雇用すべきだと思います。	長引く景気低迷によって、高齢者雇用を取り巻く社会経済環境は一層厳しくなり、就労機会が減少している状況にあります。市としては、松戸公共職業安定所と連携したジョブサポート流山で求人情報の提供、就労相談を通じて、できる限り就業機会の拡大に努めるとともに、高齢者へ就業機会を提供しているシルバー人材センターへの支援を継続してまいります。 一方で、様々な特性を活かしたNPOとの協働も不可欠と考えています。	無
4	P50 2-(2)	シルバー人材センターは収益事業を持たないため、他のNPOが企画できる経費を伴う事業について競合できない。 指定管理者入札に際し、この点の考慮が必要と考えます。	指定管理者の選定にあたって参加者から自主事業の提案をしていただくことは、より利用者に喜ばれる施設運営という観点から必要と考えています。 ただし、指定管理者の選定では事業提案だけではなく、価格をはじめ総合的に審査されることから、それぞれの参加者の特性を活かした提案をお願いしています。	無
5	福祉会館の運営 幼児対策も	75歳代から急速に健康を害する人が多く見受けられるので、要介護年齢を遅らせるためにも、70歳代の人々の健康管理が特に重要と思われる。現在福祉会館開催のウォーキングには大変人気があり申込みが直ぐ一杯になり希望に叶えられない。一つの対策として各福祉会館は毎月1回、開催日が重複しないように開催計画をたて運動不足による生活習慣病を発生させない一つの方法として立案させて欲しい。老人対策は各種提案や実施計画は素晴らしいものがあります。一方、これから将来を背負う子供たちが心配です。放射能汚染により外の芝生で遊べない状態では、屋内で時間をさくことになり、のびのびと運動させられないので、流山市の遊休土地を有効利用を計画し、天井が一面ガラス張り太陽が一日中差し込み床は人口芝又は本芝で大運動場で多目的なものがあるとすばらしい。	名都借福祉会館、平和台福祉会館、南流山福祉会館が共催するウォーキングは当福祉会館の指定管理者が自主事業として実施する健康づくり支援事業の一環です。事業の拡大については指定管理者と協議します。	無

流山市高齢者支援計画(案)パブリックコメント意見

NO	項目・該当箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無
6	P30 調査結果から見られる高齢者施策への期待	アンケート調査結果を踏まえて、流山市が将来に亘り市民に対して具体的提案を示すのが高齢者支援計画書だと考えます。 従って、一般高齢者や在宅認定者のニーズを単なる不満と捉えず、問題点の本質を見極めて、提案型の計画書を策定願いたい	流山市高齢者支援計画の策定に当たっては、一般高齢者、要介護(要支援)認定者へのアンケートの実施、更には流山市福祉施策審議会や地区懇談会などの開催により、市民参加を基本とした策定を目指しています。また、高齢者人口の急増など昨今の高齢者を取り巻く環境の変化や、これまでの課題を踏まえ、計画書33ページに今後の高齢者施策に関わる重点課題として掲げ、これらの課題に対する諸施策を各論に位置付けたものです。	無
7	高齢者支援について シルバー人材センターと 福祉会館の活用	シルバー人材センターには元気な高齢者が多く登録されています。 仕事もさることながら、ボランティアへの協力にも意識は高いと思います。 流山市として高齢者支援体制がこれだけあるにもかかわらず、認識、周知が低いようなので各種の支援体制と活動にシルバー人材センターとのパートナーシップを高めてはいかがでしょうか。 福祉会館でも自主事業等で一部参画していますが、予算等の制約もあり限定的になっています。元気な高齢者のコミュニティー作りの拠点として、また市役所では敷居が高く感じられている人と、民間とのパイプ役としての福祉会館の更なる活用を考えてみてはどうでしょうか。	各種高齢者福祉施策を推進していくためにはより多くの市民への周知は大変重要です。 引き続き元気な高齢者のボランティア活動への参加など広範な地域活動への参加意識の高揚に努めていきます。 また、福祉会館の有効活用を図るため、自主事業の拡大について各指定管理者と協議してまいります。	無
8	就業支援	60才～65才で退職した人達も健康の為働きたいと思う人は沢山います。 流山市シルバー人材センターへ登録してもなかなか仕事が見つかりません。 収益事業を持つ他のNPOが業務拡大しておりシルバーセンターを設立した趣旨に、反していると思います。	長引く景気低迷によって、高齢者雇用を取り巻く社会経済環境は一層厳しくなり、就労機会が減少している状況にあります。市としては、松戸公共職業安定所と連携したジョブサポート流山で求人情報の提供、就労相談を通じて、できる限り就業機会の拡大に努めるとともに、高齢者へ就業機会を提供しているシルバー人材センターへの支援を継続してまいります。 一方で、様々な特性を活かしたNPOとの協働も不可欠と考えています。	無